

# 9条まもれ 草の根から

「待っていました。ハム(アマチュア無線家)仲間の九条の会」この会を知って、ふたたび平和活動に参加する場ができた」。六月に結成した「アマチュア無線家9条の会」への賛同が愛好家に広がっています。

東京の地域情報紙やアマチュア無線の専門月刊誌なども「会」を紹介しました。北海道から沖縄、韓国の無線家ら約七十人が賛同を寄せ、無線クラブや労働組合の分会も参加しています。

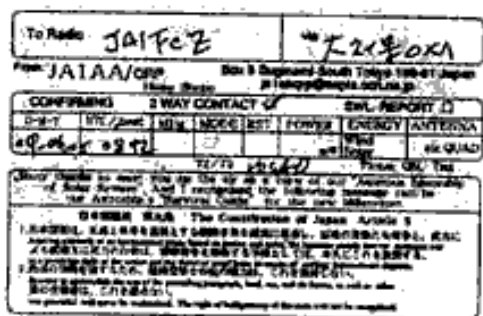
アマチュア無線は、戦時中から戦後の一時期に禁止され、アマチュア無線家が戦争に協力させられた歴史があります。

**改憲を止める**

世界の人々と交信し、友情を深められるアマチュア無線。友情を引き渡すユア無線。戦争には強い謙遜と反対の気持ちを持つ。同会の参加の呼びかけには興味を通じて集まった人たちの思いが込められています。

「戦争になれば、子どもが学ぶ楽しみも、アマチュア無線で交信する楽しみも奪われる。戦争の歯止めになっている憲法九条の改憲を、いとめるために何かできないか」。こう考えた同会事務局長の男性教諭(50)が、web雑誌「CIRQ」誌

## アマチュア無線家 平和の輪



憲法9条が刷りこまれたQSLカード



自由にデザインされたQSLカード

### 交信カードに憲法刷り込む

編集長の大久保忠さん(70)副会長に相談したのが「会」の始まりです。そこで「9条の会をつくる」と意気投合したのです。

静岡で空襲にあい、逃げ込んだ河原の土手に爆弾が落ち、火の海を逃げまわった経験をもつ大久保さん。戦争はしたくないという思いから、自身のホームページで二〇〇一年から憲法前文を掲載してきました。

大久保さんの知り合いの庄野久雄さん(60)も「自分も呼びかけ人になりました。庄野さんはアマチュア無線家に与えられるコールサイン「JA1AA」を持っています。戦後のアマチュア無線の開局第一号です。クリスマスチャンスの庄野さんは、従軍し戦場で生死を繰り返す」という同会で企画も自発的

「アマチュア無線家らしい多様な企画や運動を広げよう」という同会では、電波法を守り活動することを申し合わせています。交信した人が互いに交換する「QSLカード」(交信証明書)に九条の条文や、九条を守り世界に広める言葉を刷り込んでいきます。

賛同者からは自発的に「九条グッズ」づくりなどのアイデアが寄せられています。

楽しく活動することを大事にしています。八月には東京で結成後の集いも開きました。普段は顔を合わせることもないアマチュア無線家たちが交流し、「会」の今後の活動について話し合いました。記念撮影後も名残惜しく懇談が続きました。

全国には約六十六万人のアマチュア無線局が開局されています。大久保さんは「個々の賛同者が主体的に『会』の活動をする中で、賛同を増やしていくようにしたい」と語ります。